

令和4年度 さいたま市立本太小学校 第3回学校運営協議会 議事録

【日時】令和5年2月14日（火） 14時00分～15時30分

【場所】本太小学校 南校舎3階 コンピュータ室

○議事録

司会：教頭 書記：学校地域連携コーディネーター

●開会

1 あいさつ

- ・校長あいさつ

2 学校評価の結果（司会：委員長）

○教務主任より、配付資料をもとに説明

- ・肯定的な回答の割合がどれも高くなっている。
- ・特に児童による評価の「学校が楽しいか」が96%、「友達と仲よく過ごしているか」が99%と、教職員の取組の成果が表れている。
- ・児童による評価「休み時間は外でよく遊ぶか」は64%という結果だが、これは児童の主体性を尊重したためである。今後も外遊びのよさについて伝えていく。
- ・今後はより高いところを目指す必要があるため、来年度の学校評価では、数値が下がることも予想される。

3 学校評価システムシートについて

○校長より、今年度の児童や教職員、保護者、地域の方の活動の動画や写真をもとに説明。

(1) 学力向上について

①タブレットの効果的な活用について

- ・高学年社会科における「外国について調べる」という学習場面では、各自が調べたことを共有のパワーポイントファイルに書き込みまとめる取組を行った。
- ・低学年算数科における、「大きな数の学習で数直線に自分の考えを書き込む」という学習場面では、皆の意見や考えを一度に全体に示すことができた。また、そこから発表にも移ることができた。教師側でも子どもの活動や学びを見取ることができた。

②主体的な学びの授業改善について

- ・わからないと取り組む前に辞めてしまう子の割合が高かったため、わかったところ、できるところまででよいから書いてみようという取組をしている。このことから、根気強さやあきらめない気持ちの育成、主体的な学びの推進につながっている。
- ・「1年生と6年生のスマイルタイム（縦割りのなかよし遊び）」は、代表委員会が主体的に活動し、生まれた意見から実施した取組である。

(2) 安心・安全について

①不登校児童を減らす取組について

- ・オンライン学習でつながりをもったとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談機関と連携して取り組んだ結果、30日以上の欠席者が前年度よりも半数以上減少した。
- ・子どもの困り感に寄り添う取組を実践した。

②施設の安全について

- ・担任による机、椅子の点検をはじめ、教職員が各担当場所を点検し、安心・安全な環境づくりに努めている。
- ・掲示や用具置き場の整備などで、安全ともに美しい環境づくりにも取り組んでいる。

(3) 地域との連携について

- ・月1回以上、学校ホームページを更新し、児童の様子を伝えている。
- ・地域の方々との連携も、増やすことができた。
(地区会映画会、交通安全指導、そろばんの指導、福祉講演会などの様子を紹介)
- ・挨拶の推進についても、代表委員の挨拶運動、本太中学校との合同挨拶運動、埼玉ブロンコスとの挨拶運動など積極的に取り組んだ。
- ・地域の方との挨拶ができるよう、広げていくことが課題であると思う。

(4) 教職員の資質向上に向けた取組について

- ・学校課題研究で、道徳科の授業実践及び授業後に研究協議会を実施し、指導力の向上を図った。
- ・教員相互に学び合い、授業で勝負できる教職員組織の育成に努めた。

4 熟議「学校評価システムシートに基づいた本校の取組について」

Aグループ【学力について】

- ・丁寧に授業をされていることがわかる。特に無回答を減らす取組は大変よい。「あきらめない」気持ちを育成することは、今の子どもにも大変重要であると思う。
- ・今後は、主権者教育、アクティブラーニング、個別最適な学びについて研究し、

効果を高めていただきたい。

- ・ICT教育は、今後もぜひ小学校でしっかり取り組んでもらいたい。
- ・今、取り組んでいる学びが将来どこにつながっていくのか、夢をもたせる指導が大切であると思う。

Bグループ【安心・安全について】

- ・不登校を減らす取組については、大変よい。その子に合った支援をしてきている、その子に寄り添ってやってくれていることが効果を上げていると思う。
- ・今後は、家庭環境が原因となっている不登校児童に対しても、かかわり方を研究し、対応を進めてほしい。
- ・施設については、責任をもって安全点検をしてきているのがよくわかった。教職員が子どもに近いからこそ、危険が想定できると思う。子どもの怪我が減った理由のひとつであろう。
- ・大地震等の際、避難所として学校を使用することになるが、体育館が古いこともあり、安全面について少し心配がある。

Cグループ【保護者・地域との連携について】

- ・学校HPによる情報発信は、大変よかったと思うが、安心メールなども活用してみてもよいのではないか。また、地域の方々からの情報発信もあってもよいのではないかと思う。
- ・先生方、地域の方々とも顔を合わせて話す機会がもっと増やせるとよいと思う。行事の復活が望まれる。また、地元の人たちと新しく地区に来た人たちとの交流があるとよい。
- ・多世代交流は、とてもよいことと思う。むかし遊びやゲームなどで、皆がよく知り合える機会になると思う。

Dグループ【教員の資質向上について】

- ・研修を通して共通理解を図り、学校全体で無解答率を減らせるよう取り組んできたことがよかった。道徳の研究でも、学校全体で共通理解を図り、ともに学び合った点がよい。
- ・GIGAスクール構想の推進や不登校対応について、管理職、教職員の連携はもちろんのこと、中学校区3校、ICT支援員、SSW、SCとも連携を深め、協力して対応することができたことが大きかった。校内研修に限らず、様々な機関と連携していくことで、学校全体で資質向上が図られると思う。

5 学校運営に関する基本的な方針の承認

○本年度から大きく変わったところはないが、特にという点について説明。

- ・「主体的に考え、行動し、豊かに交流する児童の育成」を重点とする。特に体験的な活動と教科横断的な学習を推進する。

- ・「基礎基本の徹底と学力の向上」として、一点目に「主体的、対話的で深い学びの一層の推進」、二点目に「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」、三点目に「シンG I G Aスクール構想と教科横断的な学びの推進」以上の三点を重点的に取り組む。
- ・「豊かな心とたくましい体の育成」として、「特別の教科 道徳を要とした道徳教育の充実」、これに加えて、「組織的な生徒指導、教育相談体制の一層の強化」と「行事や体験的な活動の充実」を重点的に取り組む。次年度は、様々な体験的な活動を取り入れたい。

◎校長の説明のあと、司会の進行により委員の皆様より「次年度の学校運営に関する基本的な方針」について仮承認をいただいた。

6 諸連絡（司会：教頭）

- （1）学校運営協議会委員へのアンケートについて
- （2）令和4年度卒業証書授与式・令和5年度入学式の御案内について

● 閉会